

HopStepJump

4

授業づくり①

<http://toyono-jinjikyoo.com/>

— 学習指導要領と授業について —

第 3 回初任者研修は、能勢町教育委員会学校教育課の辻課長より演習を交えてご講義いただきました。タイトルは、「大阪がめざす授業スタンダード」でした。授業スタンダードは、“子どもたちに力をつけたい”という目の前の子どもたちへの熱い思いから創り出されました。だからこそ講義では、子どもたちをしっかりと見取り、関係をつくり、力を引き出していくこと、また具体物を用いて子どもたちに意欲をもたせること等、授業づくりへ向かう心に重点を置きお話いただきました。また後半には、指導案の書き方についても、ポイントをしばりご教授いただき、短い時間でしたが実際に書くところまで研修の中で行いました。

子どもの心をつかんでこそ、子どもがうーんと考えて、ひらめきのあるしかけを作ってこそ、子どもも私も楽しい授業になるのだと思いました。(その方が授業づくりからのしい)そのために、普段から子どもと関係をつくり、何に興味があるか、何を頑張っているのか、どこでつまづきやすいのか、関わりを通して知ることが大切だと感じました。

「子どもの力を信じる」という言葉が、とても心に残りました。うそをついてしまうのにも理由があり、その子との関係づくりがまだまだできていない部分も原因の 1 つと考えられるのだと思いました。まずは、児童理解に努めようと思います。たくさん遊ぶこと、たくさん授業を子どもとつくり上げていくことで教師としての力を磨いていきます。

松の葉相撲など、身近な植物で子どもたちが楽しめることがたくさんあると思いました。私も、子どもが「楽しい」「知りたい」「おもしろい」と思うことの引き出しをたくさん作っていきたいです。同学年の担任をされている、経験も近い先生方と交流ができて、うれしかったです。指導案を書くことに、苦手意識がとてもありますが、書けば書くほど自分のためになると思ってがんばって書きます。

自分が印象に残っている授業を振り返ってみると、やっぱり楽しくて、もっとやってみたい…次はどうやったらうまくいかなと自分達で考えて行動していたと思いました。子どもたちにとって学びたい授業、主体的に学びとっていく授業を心がけ、日々の授業を行っていきたいと思います。また、授業を考えていく際、今日いただいたプリントを参考にして、授業内容や活動・評価を工夫していきたいと思います。子どもたちの力を信じて、どの子も学ぶ楽しさや喜びが感じられる授業を作っていきたいと思います。そのために、学び続けていきます。

現在、指導案の作成にとりかかっている最中だったので、とても興味深いものでした。指導案を書いていく中で、学習指導要領を再度見返したり、単元の評価規準、単元の指導と評価の計画を考えたりする中で、子どもにつけたい力がより明確になってきたと感じていました。教材観・生徒観・指導観も分けて考えていくことで、さらに深みのあるものを作っていこうと思いました。

今回の講義から感じたことは、計画性と柔軟性の大切さです。計画性を持って授業づくりをすることは、子どもの「学びたい」を引き出すために重要であるが、それにこだわりすぎないことも気持ちとして持つておかなければならないと感じました。子どもたちと一緒に学んで、お互いを成長させていきたいと思っています。

計画どおりに進めたいという気持ちが強すぎて、子どもたちのつぶやきを見逃してしまうこともあるかもしれません。授業では、予想しない子どもの発言により一気に授業の流れが変わることもあります。高次の学びへと導く授業を展開するには、一方的ではなく、子どもたちの反応を感じ取ることが大切になります。

講義では、グループ交流の時間がありました。学校でたった一人の初任者の先生もおられます。同じ初任者だからこそ、共有できることがあると思います。交流することで、自分では気づかなかったことに気づき、自分の考えが広まり深まります。また、次につながる原動力を創り出すものになることもあります。

クラスをもって2ヶ月弱の自分の姿をあらためて振り返ることができた。グループでの話し合いでも、同じ学年の先生とお話することができ、こういう悩みをもっているのは自分だけではないと感ずることができた。また前を向いて頑張ろうと思える力を頂いた。子どものことも、教材のことも深く知ることが大切で、授業を進めることに必死になりすぎている自分に気づけた。

今まで初任者研では、同じ学年を担当している先生方と、今どんな勉強をしているか、どんなことに苦勞しているか、クラスはどんな雰囲気かを交流する機会があまりなかったのが、今日のグループ交流はとてもいい時間を過ごすことができました。私は同じ学校に初任の先生がいないこともあり、「私だけがこんなに子どもたちをまとめきれてないのだろうか・・・」と不安に思うことがたくさんありました。話をしてみて、みんな同じだということが分かり、とても安心できました。子どもたちにとっても、だれかと自分の状況や意見を交流することは、今日の私のように安心できる材料になるのではないかと思います。授業の中でも私が話す時間よりも子どもたち同士の交流を深め、考えていける授業を明日から心がけたいです。

授業において、実物を用意した導入はよく行っていますが、子どもたちが実際どのように感じているのかなと思っていました。本日、実物を触り、周りの人と話すことで、自分が感じたこと以外の発見もあり、これからも続けていこうと思いました。また、同じグループの方たちが、同じ学年を担当していましたので、いろいろな授業案が聞けて、今後に生かせるものが多くて、良い学びになりました。

辻課長の講義の後には、人事協議会岩川研修グループ長より、「学習指導要領と授業について」、手引きにもある自己成長・確認シートの記入を含め、講義しました。

もう一度、学習指導要領を読んで、学年を越えてのつながりを把握した上で、単元計画をしたいです。

授業を考える際に、前の学年で学んだ内容との関連性をあまり考えていなかったのが、子どもたちがどこまで既習していて、どこまでできているのかを把握し、そこから当学年の学習につながるということを意識して考えていきたいと思いました。そのために、レディネスとして前学年で学んだことを復習する等、子どもたちが学習に入っていくやすい取り組みをしたいと思います。学習指導要領を参考にし、目的をもった授業、指導案づくりを心がけたいです。

授業づくり、自己成長・確認シートに記入してみると、今日の自分は A 領域に自信がないことがよくわかった。授業づくりに関しては、力を入れている自負もありますが、まだまだ足りない部分を再認識できました。

自分の授業の足りてない要素がたくさん見つかった。あまり、活用することに時間を割けていなかった。もちろん時間の問題もあるが、あまり自分の中に引き出しがないのが大きな要因だと思う。今日色々なワークを通じて、ためになる知識を得ることができた。他の地域の人や教科の先生方と交流するワークがあって、すごくためになった。今日教えて頂いた授業スタンダードをもう少し意識しようと思った。また、自己成長・確認シートの項目を参考に自分の教師力を磨きたいと思います。

毎日の中で、自分を見つめ直す時間をつくることは難しいと思います。初任者研修を通して振り返ることで、客観的に自分を捉え直し、前向きな気持ちになり、新しい発見を持ち帰ってほしいと思います。授業づくり自己成長・確認シートの記入は、11月の初任者研修に2回目を行います。シートについては、Webアップもしているので、必要に応じて適宜ご活用ください。

講義の中で、授業を改善していくための手立てとして、他の先生の授業を見る、書籍を読む、自分の授業を録画することやST分析等、具体的に示してくださいました。何か1つでも試みると、そこには授業改善につながる気づきが必ずあります。焦らず日々の授業を大切に、実践を重ねていきましょう。

研修の中で紹介されました『大阪の授業 STANDARD』・『観点別 S-T 分析ソフト』は、大阪府教育センターのホームページからダウンロードできます。